# 安全衛生だより第3号

#### 1. 4月全国行事

1)世界保健デー

4月7日

#### 2. 安全・衛生・防災の心得① : この時期、45の徹底を図ろう

「4S」は、整理・整頓・清掃・清潔のことですが、年末や年度末になると各職場で4Sが叫ばれます。4Sを形式的・思いつきではなく、本来の観点から次のように定義して基準や手順を定め、日頃から管理と活動を定着させ習慣化することが大切です。

- ◆整理は、必要な物と不要な物を区分し、不要な物は安全に処分(廃棄・再利用)する。廃棄する時は、環境保護を考慮する。
- ◆整頓は、必要な物を使いやすいように並べて明示する、危険・有害な物は、決められた場所に決められた方法で保管する。
- ◆清掃は、職場や機械設備などの点検と併せて「ゴミなし」「ヨゴレなし」にする。
- ◆清潔は、作業者の身体などが汚れる環境や作業方法を改善し、常に身の回りを衛生的に保つようにする。

職場の4Sの管理・活動を有効かつ永続的に推進するためには、次の事項について 職場の一人ひとりが、責任を持って実行することが肝要です。

- 〇自分の4Sの受け持ち箇所·区域に責任を持つ。
- ○担当する設備や機械、器具等に責任を持つ。
- ○清掃当番の際は、決められた事項を責任を持って行う。
- 〇定期的に、4Sの管理・活動が定着しているかを皆でチェックし、評価する、など。



#### 2. 安全・衛生・防災の心得② : 野菜と果物 死亡リスク1割低下

国立がん研究センターと横浜私立大学などのグループが、全国の40~69歳の男女9万5千人の集団を長期追跡した結果、野菜や果物を多く食べる人は、少ない人に比べて20年間で死亡するリスクがそれぞれ1割程度低かったことが判明しました。研究は10都府県の住民に、1995年か1998年のいずれかに食物摂取調査を行い、野菜と果物の一日の摂取量を算出。「最も少ない」「少ない」「中間」「多い」「最も多い」の五群に人数を均等に分け、20年間観察して死亡や死因との関連を調べました。対象者はこの間に約2万4千人が死亡していました。

野菜では摂取量が「最も少ない」群に比べ、「多い」群で8%、「最も多い」群で7%、果物では「最も少ない」群に比べて「多い」群で9%、「最も多い」群で8%、それぞれ死亡リスクが低くなっていました。ただ、摂取量が多いほどリスクが下がる・・・とは言えなかったとしています。

どれだけ食べたら 何グラムかの目安



野菜

キャベツ・・・中葉1/2枚 約30g トマト・・・・・1/4個 約50g ブロッコリー・・・・3房 約30g キュウリ・・・・1/3本 約30g ニンジン・・・・1/4本 約50g

果物

ミカン・・・・2個 約140g リンゴ・・・・1/2個 約85g ブドウ・・・大粒10個 約100g キウイ・・・・1/2個 約50g バナナ・・・・1本 約75g

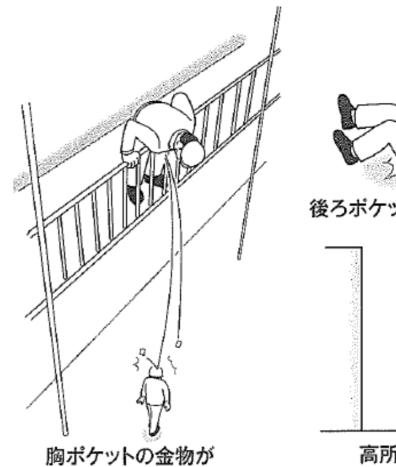
# 3. 他社 事故・災害事例から: 尖った文具等をポケットに入れない

#### (1) 災害発生状況

職場で転倒したり高所から飛び降りた際、習慣的に作業服の 胸ポケットやズボンのポケットに入れていた文具や工具でケガ をする事例が後を絶ちません。死亡した事例もあります。

## (2) 災害発生原因と補足事項

- ①先が尖った危険な物を、ケース等に収めないで危険な状態でポケットに入れていたこと。
- ②文房具や工具等を落下しやすい状態でポケットに入れていた こと。
- ②ポケットのふたやファスナーをきちんと留めて(閉めて) いなかったこと。
- ③作業衣のポケットに物を入れることの危険性等について、 教育や躾(しつけ)が行われていなかったこと、など。



11紀下方の作業者を直撃



高所から飛び降りた際、 ボールペンの先がアゴに刺さった

## (3) 再発防止対策

類似災害の防止のためには、次のような対策の徹底が必要です。

- ①作業服のポケットには、危険な物を入れないよう徹底を図り、習慣化する。
- ②ハサミなどの先が尖ったものをポケットに入れる際は、安全なケースやカバーを使用する。
- ③工具等を持ち運ぶ際は、安易にポケットに入れないで専用の用具を使用する。
- ④ポケットがあることによって、不要な物を入れたり、機械等に引っかかったり、ハンドポケットなど、安全上の 阻害要因となる場合のポケットは外したり縫い付ける、などする。
- ●環境安全部より:ポケットに手を入れた状態での危険性はKYTで取り上げることが多いと思われますが、物等を入れることについても、安全教育、危険防止対策等の実施をよろしくお願い申し上げます。また、パーカーグループ安全作業基準書(初版)の中で、「共通1-2・服装・保護具」について記載しておりますのでご参照下さい。

# 4. 当社 良い事例(抜粋)

●宇都宮工場

産廃置き場に屋根が設置され整備されている。





●西日本技術センター(関西)棚の4Sが向上している



## 5. ヒヤリハット事例

●事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	作業中
どこで	工場内作業場
何をしている時に	ハンドリフトを操作していた
どうなった	疲労もあり深く考えずに引き戻したら、足がタイヤに挟まれそうになった